

北朝鮮による弾道ミサイル発射事案に係る政府の初動対応について

平成29年9月15日（11：30）現在（最終報）
官 邸 対 策 室
※日時は特段の注記がない限り日本時間

1. 事案の概要

9月15日（金）6時57分頃、北朝鮮西岸から東に向け1発の飛翔体が発射され、7時04分頃から7時06分頃にかけて、我が国の渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を通過し、7時16分頃、襟裳岬の東約2,200kmの太平洋上に落下したものと推定

2. 政府の主な対応

- 07：01 総理指示（ミサイル発射に対する指示）
1. 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
 2. 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
 3. 不測の事態に備え、万全の態勢をとること
- 07：07 総理指示（上空通過に対する指示）
1. ミサイルが通過したと判断される地域に重点を置き、落下物等による被害がないか、速やかに確認すること
 2. 北朝鮮の今後の動向を含め、引き続き、情報収集・分析を徹底すること
 3. 米国や韓国等、関係諸国と連携し、引き続き、緊張感を持って、必要な対応を適時適切に行うこと
- 07：15 緊急参集チーム協議開始
- 07：33 官房長官会見
- 08：00頃 国家安全保障会議（四大臣会合）
- 09：00 官房長官会見
- 09：24 総理会見
- 09：49頃 国家安全保障会議（四大臣会合）（二回目）

※ 北朝鮮に対して厳重に抗議を行い、日本国民の強い憤りを伝えるとともに、最も強い表現で非難した。

※ 日米韓で、安保理議長国（エチオピア）に対し、国連安保理緊急会合の開催を要請。

（Jアラート及びエムネットの送信状況）

07：00以降Jアラート及びエムネットを送信

【発射情報】

- 07：00 発射情報をJアラートで送信
- 送信内容：「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難して下さい。」
- 07：01 発射情報をエムネットで送信
- 送信内容：「06時57分頃、北朝鮮西岸からミサイルが東北地方の方向に発射された模様です。建物の中又は地下に避難して下さい。続報が入り次第、お知らせします。」

【通過情報】

07:07 通過情報をJアラートで送信

送信内容：「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

07:08 通過情報をエムネットで送信

送信内容：「先程北朝鮮から発射されたミサイルは、07時06分頃、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。なおミサイルの破壊措置の実施は無し。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防又は海上保安庁に連絡して下さい。続報が入り次第、お知らせします。」

【総括情報】

07:25 総括情報をエムネットで送信

送信内容：「9月15日（金）06時57分頃、北朝鮮西岸から東に向け1発の飛翔体が発射され、07時04分頃、我が国の領域に侵入し、07時06分頃、領域を退去、07時16分頃、襟裳岬の東約2000kmに着水。」

10:12 総括情報をエムネットで送信

送信内容：「7時25分に送信したエムネットにおいて、「07時04分頃、我が国の領域に侵入し、07時06分頃、領域を退去、07時16分頃、襟裳岬の東約2000kmに着水」とお知らせしましたが、「07時04分頃から07時06分頃に北海道地方上空を太平洋に向けて通過、07時16分頃、襟裳岬の東約2200kmに落下」と修正いたします。」

3. 被害状況

現在までのところ、我が国の領域への落下物は確認されていない。また、現時点において、付近を航行する航空機や船舶への被害報告等の情報は確認されていない。

4. 省庁の活動状況

<国土交通省>

- ・07:01 海運事業者団体等に注意喚起実施
- ・07:01 航空運送事業者に注意喚起実施
- ・07:03 航空情報（ノータム）発出
- ・07:05 管制から航空機へ注意喚起発出

<海上保安庁>

- ・07:02 航行警報発出①
- ・07:04 海の安全情報発出①
- ・07:09 海の安全情報発出②
- ・07:15 航行警報②、海の安全情報発出③
- ・07:33 海の安全情報発出④
- ・07:58 航行警報発出③
- ・08:29 航行警報発出④

<水産庁>

- ・07:01 漁業安全情報発出（第1報）
- ・07:28 漁業安全情報発出（第2報）

※ 暫定的なものであり、変更があり得る。